

広報

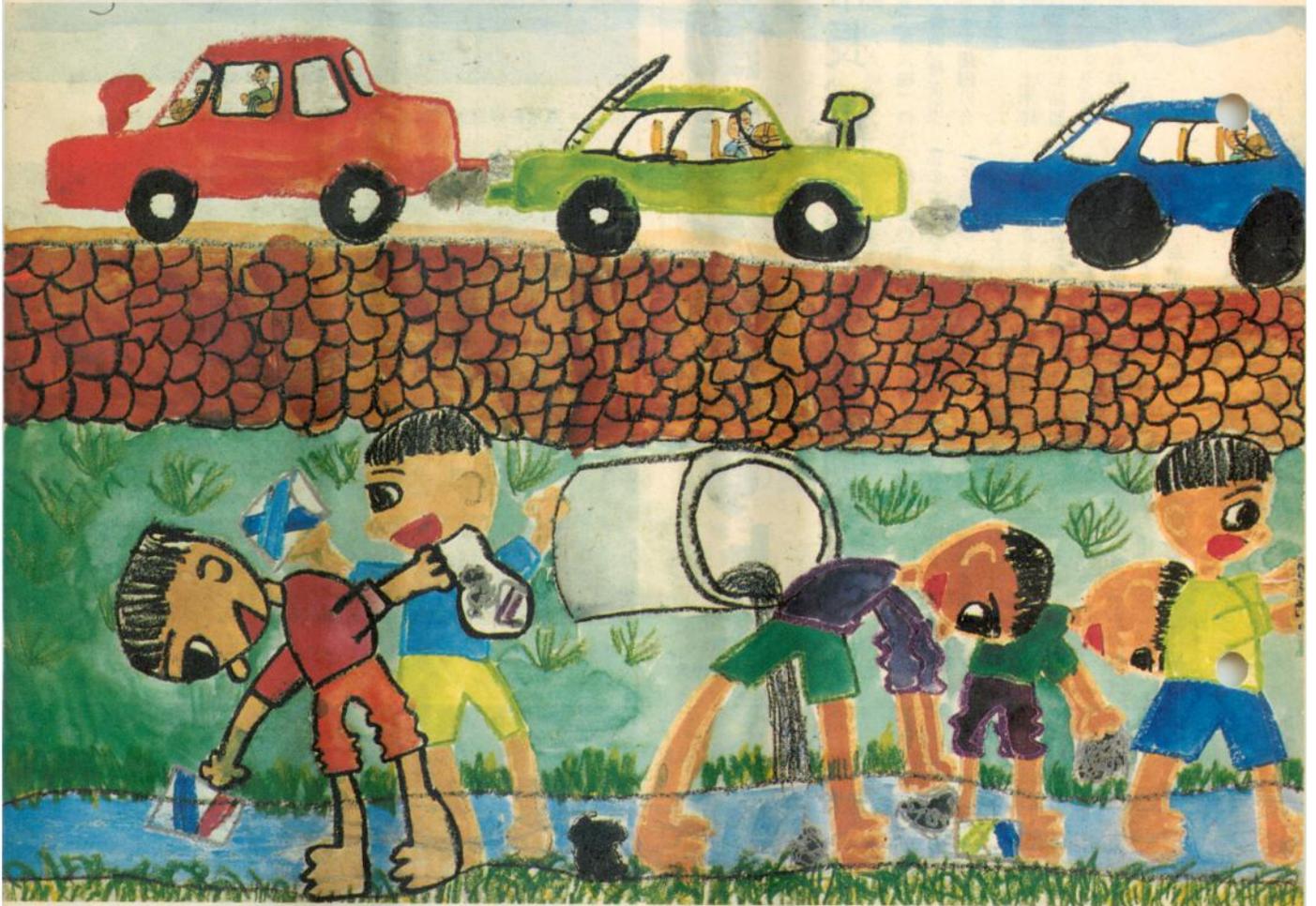
 ごよがわら

発行所
 五所川原市役所
 515号
 昭和57年3月15日
 印刷 (株) 佐々木印刷工業

市の人口 男 25,785人
 53,264人 女 27,479人

世帯数 14,650

(昭和57年3月1日現在) 住民基本台帳から



ごみを捨てないように
 気をつけよう

絵は「住みよい環境をつくる」市内小・中学校児童
 ・生徒の作品のうち、金賞を受けた五小2年・大平け

んじ君の作品「ごみをすてないように気をつけよう」
 です。

「元気で働いています」

寺田市長、出稼ぎ先を激励訪問

「皆さんお元気で働いていますか」

寺田市長と横山市出稼隊係長は二月二十二日から六日間、東京をはじめ神奈川県など、関東地方の出稼ぎ現地就労先を訪問、激励しました。

今回訪問したのは、岐阜県海津郡平田町にある丸栄

コンクリート工業(株)のほか、愛知、静岡、神奈川、千葉の各県と東京都内の合わせて十一社です。

これらの会社は、土木建築、電気、自動車の部品製造、菓子製造、コンクリート加工などが主なものです。市からはおよそ二百五十人が就労しており、三十

組ほどの夫婦も含まれています。

訪問は、昼は主に会社の経営者と会い、仕事にひけた夕方から各寮で直接出稼ぎ者と会い懇談をしました。経営者側からは、「五所川原人は真面目でよく働いてくれる。できれば夏場にも働きに来てほしい」との

要望も出たという。

一方、出稼者の間からは「土、日曜日にも休みなく働きたいが、会社の操業短縮などでやむを得ない」、「留守中の火事も心配なので、電話や便りをこまめにやっている」などの声のほか、郷里の積雪状況を心配する声も聞かれたが、訪問



東京都練馬区の総成建設(株)で働く皆さん



愛知県の日本電装(株)で働く皆さん



岐阜県・葵組(株)の寮で懇談のひとつ

した結果では、全般に皆さん仲良く元気で働いている

印象を受けたという。

政治学習会を開催

「政治と生活」について

市選挙管理委員会では「活」について

次期日程で政治学習会を開催します。講師 青森大学助教 授木村良一氏

ふるってお申し込み下さい。希望の方は、三月二十日までに市選挙管理委員会

事務局(☎05)二二一番(水)午後一時

産経会館四階会議室

お申し込み下さい。お申し込み下さい。

農地を買い 借りたい農家は

現在、あるいは将来農地を買い、または借りて経営規模を拡大する計画のある方は、四月三十日まで市農業委員会へ届け出をして下さい。

これは、「農地移動適正化あつせん事業」及び「農

四月三十日まで届け出を

地保有合理化促進事業(農村開発公社)で農地を借りたい方、または借りたい方は、「あつせん譲り受け等候補者名簿」に登録されなければ、あつせん事業の適用を受けられないためです。

委員会がなかに入り、農地の売買、賃貸借のあつせん(仲介)を行う事業です。【持参する関係書類】①登録者の住民票抄本 ②同一世帯内の資産証明

書各一通 ①あつせんの対象とならないもの ②売り渡し(農地を手放す、または貸し付けの相手方(買い受け、借り受け農家)を指定してあつせん(仲介)を申し出た場合

市税務課は、固定資産課税台帳を次の日程で縦覧に供します。関係者は各自の固定資産課税台帳を縦覧し、登録された事項を確認して下さい。これは、固定資産の評価額など、五十七年度の固定資産の固定資産税と都市計画税の税額の算定の基礎となるものです。とくに昨年中に家屋を新増築したり、土地を取得された方は必ず縦覧するようにして下さい。

固定資産課税台帳の縦覧を

なお、登録された事項に不服がある場合は、縦覧期間の初日から末日後十日までの間に、固定資産評価審査委員会へ審査の申し立てをすることができます。

- 【期間】四月一日～四月二十日まで
- 【場所】市税務課(本庁三階)
- 【時間】平日午前八時三十分～四時まで
土曜日午前八時三十分～正午まで

年金のはなし

その9

年金の支給停止

国民年金は、一定の事項に該当すると、支給権があつても、支給を停止される場合があります。その主なものは次のとおりです。

- ①国民年金制度から二つ以上の年金を受けるようになったとき。
- ②本人の希望により、どちらか一方は、支給を

停止されます。

②業務上の災害補償を受給権があつても年金の

支給が止められるとき

- ①勤め先の仕事(業務上)が原因で、労働基準法の障害補償や遺族補償が受けられるときは国民年金の年金は、六年間支給が
- ④他の年金制度から老齢、障害年金を受けられ

停止されます。

- ③他の年金制度から遺族年金を受けられるとき。母子年金(準母子年金)を受けている人が、同じ理由で、他の年金制度から

るとき。

- 母子年金(準母子年金)を受けている人が、他の年金制度から老齢(退職)年金、障害(廃疾)年金を受けられることができるときは、母子加算(準母子加算)が支給を停止され
- ⑤障害の状態が軽くなつたとき。

下岩崎等が速達区域に

三月一日から 次の区域が速達郵便物の配達区域となりました。ご利用下さい。【速達地域名】みどり町六丁目、七丁目、八丁目、広田、稲実、七ツ館、下岩崎 (五所川原郵便局)

文化奨励賞



T Aらに特別賞

他に22人
8 団 体

市スポ ーツ賞

葛西さんらに功労賞

1038 人
8 団 体

五十六年度の市文化奨励賞、市スポーツ賞の合同表彰式が、二月二十七日午後二時から市中央公民館に關係者約二百人が出席して開かれました。

これまで市スポーツ賞が十月十日の体育の日に、市文化奨励賞は十一月三日の文化の日に実施してきました。しかし、それぞれの表彰式が終わった後にもその年度の受賞対象者が出て、一年ずれ込むなど問題点があったため、今回から合同で実施することになったものです。

今年度の市文化奨励賞は、特別賞の五所川原小学校五年三組(全国版画カレンダーコンクール特賞)、同小学校PTA(県PTA広報コンクール特選など)のほか、個人二十二名、八団体(二百六名)です。また市スポーツ賞は、功労賞の葛西誠さん(六)市野球協会、成田弘三さん

文化奨励賞

個人

- ▽ピアノノ松本藤子(中央小五年)▽版画ノ竹谷昭子(五小六年)▽珠算ノ浜館瞳(飯詰小六年、其田晴美(飯詰中二年)▽書道ノ川浪悦子(鶴ヶ岡小五年)、川浪寿子(同六年)、齋藤千賀子(二中一年)、横嶋美由起、中川伸吾(同二年)、時田智子(五所川原書道会)、小原み志(都書道院)、山上和美(東京白羊会)
- ▽作文ノ嘉山博子(毘沙門小二年)、木村一(同五年)、原田満(同六年)、成田知子(同三年)▽短歌ノ大沢

頼枝(津軽アスナロ短歌会)

▽俳句ノ成田市子、三上清藏(以上五所川原俳句会)

▽川柳ノ長沢典三(川柳岩木吟社)▽標語ノ藤丸勝美(松野木小)▽将棋ノ浅田隆利(五所川原将棋道場)

団体

▽合唱ノ五所川原合唱団

▽吹奏楽ノ五一中吹奏楽部(柴谷有香他二十五人)

▽珠算ノ飯詰小(浜館瞳他二人)、飯詰中(高橋須賀子

他四十八人)

▽吹奏楽ノ五一中吹奏楽部(柴谷有香他二十五人)

▽珠算ノ飯詰小(浜館瞳他二人)、飯詰中(高橋須賀子

他四十八人)

▽吹奏楽ノ五一中吹奏楽部(柴谷有香他二十五人)

▽珠算ノ飯詰小(浜館瞳他二人)、飯詰中(高橋須賀子

他四十八人)

(六)市体育協会、笠井長三郎さん(七)市陸上競技協会、はじめ、個人三十八人、十団体(百人)です。式では、君が代斉唱のあと表彰が行われ、高橋民一市教育委員長から個人、団体に表彰状と記念のメダルが授与されました。続いて鈴木市教育長が「今回から、市の文化、体育振興に尽くした方々の表彰を一緒に行うことになった。今後ともそれぞれの分野で十二分に活躍され市発展に努力してほしい」とあいさつしました。来賓の高橋清徳市助役、寺田義雄市議会議長らが祝辞を述べ、これに対し受表彰者を代表し、毘沙門小学校三年生の成田知子さん(九)市文化奨励賞作文部門が「これからも一生懸命頑張ります」と謝辞を述べ式を閉じました。受賞者、団体は次の通りです。

個人

他二人、飯詰珠算教室(中谷光子他二人)▽囲碁ノ日本棋院五所川原支部(山中昭治他二人)

特別賞

▽版画ノ五小五年三組

功労賞

葛西誠(六)、野球協会、成田弘三(六五)、体育協会、笠井長三郎(七一)、陸上競技協会)

個人

陸上ノ高橋将成、渡辺一恵(以上五一中三年)、細田進(五農高教員)、神綾子山崎恵子(以上五農高三年)、藤田優子(三中二年)、安田

信昭、川浪徹(以上陸上競技協会)

▽卓球ノ小林史幸、小林広行、石岡恒幸、阿部隆、片岡柁敏、片岡美代子、横島茂子(以上青商高二年)、福士時子、齋藤裕子、小林洋子(以上青商高三年)、山形寿行、石岡智幸(以上三本木高三年)、須藤尚美(同一年)、工藤慶人(五一中一

信昭、川浪徹(以上陸上競技協会)

▽卓球ノ小林史幸、小林広行、石岡恒幸、阿部隆、片岡柁敏、片岡美代子、横島茂子(以上青商高二年)、福士時子、齋藤裕子、小林洋子(以上青商高三年)、山形寿行、石岡智幸(以上三本木高三年)、須藤尚美(同一年)、工藤慶人(五一中一

信昭、川浪徹(以上陸上競技協会)

▽卓球ノ小林史幸、小林広行、石岡恒幸、阿部隆、片岡柁敏、片岡美代子、横島茂子(以上青商高二年)、福士時子、齋藤裕子、小林洋子(以上青商高三年)、山形寿行、石岡智幸(以上三本木高三年)、須藤尚美(同一年)、工藤慶人(五一中一

信昭、川浪徹(以上陸上競技協会)

市内みどり町四丁目の葛西誠さん(六)はこのほど、スポーツの振興に役立てて下さいと、五万円を市教育委員会へ寄付しました。

二月二十七日の市スポーツ賞の功労賞の受賞を記念して贈ったものです。



スポーツの振興 にと五万円寄付



友愛訪問等に感謝し造花を贈る

市内栄町の神ふぢさんは二月二十七日、市にサボテンの造花を寄贈、高橋助役に託しました。

市

五小P



五高定時制生徒再募集

□年齢は、問いません。
□入学願書受付
三月十八日(木)から三月二十三日(火)まで(日曜日を除く。土曜日及び最終の日は正午まで)

□経費及び奨励金
授業料その他 月額三、六〇〇円

定通修学奨励金 月額七、〇〇〇円給与
詳しいことは、五所川原高校へお問い合わせ下さい。
(☎35三〇七三)

銃剣・短剣道教室を開講

□面接
三月二十四日(水)午前十時

□合格発表
三月二十五日(木)午前九時

□教科書 無償配布します。

□期間 第一次：四月六日～七月末日
第二次：八月十七日～十月末日

□場所 市民体育館(サブ体育館)

□定員 小・中・高校生

各十人(男女共)

□服装 各自学校で使用しているスポーツウェア

□費用 スポーツ傷害保険料として三百六十円が必ず要です。

□申し込み先 市内田町

年、梅引理恵(南小五年)、境谷恭子(同六年)
▽相撲：葛西二三彦(五農高教員)、葛西安広(五商高三年)、葛西孝彦(同教員)
▽柔道：佐藤順一(柔道会)
▽ライフル射撃：相馬憲将(五警署)▽ウエートリフティング：長内久志(五一中主事)
▽なわとび：工藤美香子(東小二年)、福土寿子(同四年)、今貴美子(同五年)、楠美則康、福士聡、新谷光公(以上同六年)、今隆司、今英則(以上二中一年)

▽団体
▽バレーボール：五一中男子バレー部(小野秀樹他十三人)、市男子バレーボールチーム(小野亮他八人)▽弓道：五所川原弓道会(成田治哉他三人)▽銃剣道：五所川原銃剣道協会(小野昭彦他二人)▽空手道：五高空手道部(三橋豊他七人)▽相撲：五商高相撲部(林勝彦他七人)▽ソフボール：五農高ソフトボール部(工藤、治他十五人)▽陸上：五一中陸上部(佐藤琢哉他六人)▽柔道：五所川原柔道会(一戸広市他十四人)、五農高柔道部(阿部寿人他十五人)▽互回受賞者：佐藤順一、今昭人(以上柔道会)

(敬称略)



神さんは独り暮らしで友愛訪問等に感謝の気持ちを込めて贈ったものです。
クスかごを寄贈
五所川原たばこ販売促進協議会は三月一日、市に金属製のクスかご十個を寄贈しました。

交通災害共済に
家族そろって加入しましょう

1日1円で

ご家族の
安心を!

「ごみ」を考えよう

シリーズ8 清掃公害課



一般家庭は無料

ごみについて、いろいろお電話でお問い合わせがございまして、その主旨を冒頭に上げ、ご説明いたします。

一般家庭から排出される不燃物で、市が収集・運搬及び処分するものは従来どおり無料でありまして。

「関節の痛みと腰の痛み」について

医師会と家庭を結ぶ「みんなの健康教室」が次の日程で開かれます。

お気軽に聞いて下さい。今回のテーマは、「関節の痛みと腰の痛み」についてです。

□とき 三月二十六日(金)午後一時から

街頭献血のご案内

移動採血車「青い鳥号」が次の日程で街頭献血を行います。皆さんの協力をお願いします。

□とき・ところ

る埋め立て地に搬入されるごみについて、「これを有料制にすることが適当か否か」「妥当であるとするれば、その金額はどの程度にすべきか」を諮問したわけでありまして。

不燃物の実態について昭和五十二年度の一般家庭から出た不燃物は年間五九八八トだったのに対し、事業系の不燃物は六、一三九トでありました。

これが昭和五十五年年度には、一般家庭から出た不燃物が六、四二四トと微増なのに対して、事業系の不燃

物は九、二六三トで激増いたしております。

その理由は、事業活動の発展に伴ない廃棄物も多くなったこともあるでしょうが、使い捨ての時代という言葉まで生まれたものの考え方には大きな問題があったのではないかと考えられます。

春夏季節従業員現地選考会

□とき 三月二十五日(木)午前九時から正午まで
□ところ 五所川原公共職業安定所

また、産業廃棄物処理業者が事業を拡大して、一般廃棄物の処理分野まで進出して来たことも大きな要因となっております。このような事業系ごみの増大に対処するため、この際、従来の考え方を改め、受益者負担の原則にたつて条例を整え処理手数料を徴収することが、「資源回収・再利用」と物を大切に市民意識の高揚と相まってごみの減量についても大きく役立つのではないかと考えております。

小児マヒ予防生ワクチン投与

□対象幼児

実施時期	投与対象者	回数	備考
4月	(イ) 昭和56年1月1日から昭和56年1月31日まで	2回目	昭和56年5月受けた者
	(ロ) 昭和56年2月1日から昭和56年12月31日まで	1回目	
5月	(イ) 昭和56年2月1日から昭和56年12月31日まで	2回目	
	(ロ) 昭和57年1月1日から昭和57年1月31日まで	1回目	対象者は2歳以上4歳未満の58年度受けた者

□ご注意 上記以外の乳幼児で、生後3ヵ月から48ヵ月(4年)までに受けたことのない乳幼児も対象となります。(実施時期に生後48ヵ月を経過した乳幼児は除外します)

□料金 不要です。

□お願い ◎母子健康手帳は必ず持参して下さい。

◎当日の朝体温を計って来て下さい。

◎お子さんの体質を良く知っている方がお連れ下さい。

□地区別日程

地区名	1回目	2回目	実施場所	時間
七和地区	4月6日(火)	5月19日(水)	七和コミセン	午後1時～1時30分
五小、南小学区 若葉	4月6日(火)	5月21日(金)	旧中央公民館	午後1時～2時
三好地区	4月7日(水)	5月24日(月)	三好診療所	午後1時30分～2時
松島、松島団地 梅沢、中川地区	4月8日(木)	5月20日(水)	旧中央公民館	午後1時～2時
栄、みどり町 飯詰、毘沙門	4月9日(金)	5月26日(水)	旧中央公民館	午後1時～2時
長橋地区	4月12日(月)	5月28日(金)	長橋診療所	午後1時～1時30分

□募集事業所(埼玉県川口市)
▽工藤建設(株) 男子
二十人▽姉崎興業(株) 男子
二十人▽川西建設(有) 男子二十人

男子二十人▽米伸(株) 男子十八人▽山崎建設(株) 男子十八人、工業所(株) 男子十八人、女子一人▽吉田鋳工所(有) 男子二人

春の全国交通安全運動

4月6日～15日

四月六日(火)から十五日までの十日間、春の全国交通安全運動が行われます。交通事故による死者数は昭和四十六年以降年々減りおむねピーク時の半分にりましたが、交通事故の発生件数と負傷者数は、近年増える傾向にあり、死者数は年間六十万人を超えています。

今回の運動は、さらに一層交通事故の防止を図るため、すべての人が正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけていただくことを目標に、

- ▽歩行者、特に子供の交通事故防止
- ▽自転車および原動機付自転車の安全利用の促進
- ▽安全運転の確保、特に無謀運転の防止
- ▽三項目を重点に、幅広い国民運動として展開することとしています。



新 受 入 図 書

ご利用下さい

市立図書館

書名	著者名	書名	著者名
心とは何か	藤永保	霧の館	黒岩重吾
関	佐藤朝泰	結婚の資格	藤原審爾
田中角栄大軍団 101人	北門政士	あくび指南書	阿川弘之
くだもの栄養学	川島四郎	女狐	栗本董
洞爺丸はなぜ沈んだか	上前淳一郎	秘本三国志	陳舜臣
東北農業	西田周作	セーヌで語ろう	磯村尚徳
新テレビ事情	倉本聰	消えたエプロン	細川公夫
選挙参謀	一戸冬彦	泣き虫軍医物語	田中保善
歴史への招待	藤根井和夫	大人の女が美しい	長沢節
熊襲と単人	井上辰雄	いわれているはガルト	藤沢美雄
古事記の世界	川副武胤	最新科学の話題170	朝日新聞科学部
今昔物語の世界	坂口勉	日本列島洞穴ガイド	加藤守
忠臣蔵銘々伝	尾崎秀樹	色は匂えど	小原巳恵子
懐石全書	淡交社	興信所	露木まさひろ
津軽蝦夷及王国始末	奈利田浮城	やさしい紙の工作集	日本紙芸研究会
工藤物語	楠美鐵二	新しい舞踊分野の開拓	平多正珍
太	弘前愛成園	雨が好き	高橋洋子
田川小学校百年史	協賛会	鬼面の研究	栗本董一
正倉院への道	日本放送出版協会	凶学の座	森村誠一
水底の歌	梅原猛	銀の座	堀秀彦
枯木に花の物語	近藤富枝	怪しみ	高橋たか子
古代史私注	松本清張	男の人生劇場	豊田稔

市内で火災が相次ぐ

「たばこ火」にご用心

「毎日が防火デーです。ぼくの家」
今年に入り三月にかけ、市内で火災が相次ぎ昨年同期を大幅に上回っています。これから春の火災シーズンを迎え、家庭で、職場で、

火の取り扱いには十分ご注意下さい。
五所川原地区消防事務組合(五所川原市、鶴田町)がまとめた、三月五日現在の火災発生件数はすでに十一件で、昨年同期より八件も上回っております。

損害額も千七百七十五万円多い千七百六十二万円となっており、相変わらずたばこ火の取り扱い不注意(五件)による火災が最も多くなっております。たばこの投げ捨てはもちろんのこと、

吸い殻の扱いには十分注意して下さい。
ところで、同組合がまとめた、昨年一年間の火災の発生状況によると、総発生件数は四十三件(焼失棟数五十八棟)で、二人が死亡し、十一人がケガをしております。

昨年、八・五日に一件発生、一日当たり百三十四万八千円、住民一人当たり九千七百七十七円の損害額となります。

原因別調べでは、たばこ火によるものが最も多く(全体の一一・六%で最高)、小さなたばこ火とはいえ、その扱いによつていかに多くの損害をこうむり、他人に迷惑をかけているかがわかります。

広報紙の早期配布にご協力下さい